

デブ!! 波佐見町



**DEEP!!
HASAMI!!**

DEEP!! HASAMI!!!

CONTENTS

プロローグ 2

話題の場所のディープな話

EPISODE ① ながせ陶房 陶芸家 モンネ ルギ ムック店主
長瀬 渉さん × 岡田 浩典さん 4

EPISODE ② 陶農レストラン 清旬の郷 本格石窯ピザ DA TOMMY
マネージャー ピッツマイオーロ
中谷 聡さん × 宮田 純さん 7

ディープな移住マニュアル①
ご近所のディープな関係 9

ディープな移住マニュアル②
リアルライフ波佐見 10

ディープな移住マニュアル③
おためし波佐見町 11

ディープな移住マニュアル④
聞いてみよう。 12

こちらから波佐見をアツくする ① 鴻ノ巣少年野球クラブ 13

新栄観光が
ご案内する波佐見人 14

浩子さんの波佐見暮らし。はさみ子育てライフ 18

波佐見イベントカレンダー 20

十七文字の波佐見 若葉句会 24

波佐見裏百科 26

ディープなおいしいものガイド 30

こちらから波佐見をアツくする ② 株式会社マルヒロ ブランドマネージャー
馬場 匡平さん 32

こちらから波佐見をアツくする ③ 有限会社西海園芸 庭師
山口 陽介さん 33

町のトリセツ 34

波佐見MAP 36

ディープなコースガイド 三股 38



旅のガイドブックの二歩内側をゆく

ディープ!! 波佐見町

やきものの町として紹介されることが多いけれど、波佐見はそれだけじゃない町。お碗の底をぐるんとすくえば、これも波佐見、あれも波佐見がわんさか出てくるディープな町なのです。おしゃれな一面。そうでもない一面。波佐見焼に匹敵する自慢のあれこれ。地元なら誰もが知っているあの人たち。雑誌やウェブには載らないあるあるネタ。波佐見ではあたりまえのこと。意外に町の外には伝わらないもの。波佐見らしさを生み出す「人」に焦点を当てながら旅のガイドブックよりも、一歩町の中に入って波佐見の人が伝えたい波佐見を紹介します。ディープな波佐見をご覧ください。

ディープな情報をギュッと40ページに濃縮！

だから少し暑苦しい…だけどそれも波佐見らしさ。

話題の場所の

ディープな話



ながせ陶房 陶芸家
長瀬 渉
山形県生まれ。東北芸術工科大学、同大学院、東京芸術大学研究生を経て波佐見工務所へ移住。海産物をテーマに再興する作品で知られる。趣味は釣り。

モンネルギムツク店主
岡田 浩典
東京都生まれ。カフェバーなどに勤務した後、全国の民芸を巡るバイクの旅へ。途中、波佐見にも立ち寄ったのがきっかけで長瀬さんと知り合う。好物は牛乳とプリン。

ながせ陶房 陶芸家
長瀬 渉さん

×

モンネルギムツク店主
岡田 浩典さん

西ノ原編



波

佐見に人を呼び込む全国区のスポット「西ノ原」。この場所が産声を上げたのは約十三年前。陶芸家の長瀬さんが波佐見に移住し、工房を構えたのが始まりだった。その後、長瀬さんが呼び寄せた岡田さんがカフェを開いたことで、人々が集まる場として育っていく。西ノ原の黎明期を知る二人に、当時を振り返ってもらった。

離のある感じだったよね。

長瀬 西ノ原に工房を構えたのは、かつてここで(当時は幸山陶苑)人間国宝の富本憲吉が仕事をしていたというのが決め手でした。芸大の大先輩が作陶した場所。約百年後に後輩の自分がやってきて、使われなくなった製陶所跡地に再び光を入れる。そこで同じく作陶することに物語を感じたんです。

岡田 初めて波佐見を訪れたのは、民芸の産地をバイクで巡っていた時のことです。野宿が続いてたから久しぶりに屋根のある場所です。知り合いに誰か泊めてくれる人を紹介してって頼んだんです。紹介されたのが波佐見でした。

—お二人は波佐見で出会ったんですね。

長瀬 東京時代の知り合いかと思われることも多いんだけど、実は波佐見が最初。仲の良かった先輩から頼まれたから断らなかったけど、知らない人を泊めるのに俺が時間を合わせることに無いだろうと思って、釣りしてる現場まで来てって(笑)最初は距

岡田 ちよつと冷たくされつつも、泊まらせてもらったお礼に、ジャズシンティのクレームブリュレとチーズケーキを作ったのが好評で(笑)すると、ケーキを食べた波の奥さんが「あれ、これ東京で働いていた時の職場の前にあったお店で食べたことがある—」って言ったんです。

長瀬 それが大当たり。奥さんの元職場の目の前にあるカフェで働いていたのが岡ちゃんだったんです。時々話題になってた人物と、巡り巡って波佐見で会うなんて面白い縁だなあと。そんなつながりも発覚して、仲良くなったんだよね。その時点で「このケーキ毎日食べられるなら、岡ちゃん、波佐見にこないかな—」って思っていました。完全なる私利私欲だけど。(笑)

—その出会いから約一年後に、ムックをオーブンされるわけですね。

長瀬 岡ちゃんには、出会って以降二回、波

佐見でカフェ開業のオファーをかけました。一回目は、中尾郷の物件。

岡田 全国をバイクで旅行してる最中だったこともあってその話は断ったんだよね。ただ、今の場所ですらないかつて声をかけられた時は、ものすごくタイミングがよかったんです。沖縄でバイクが壊れて、旅を中断して九州に上陸した日に「すごい物件がある—」て連絡をもらったのが今のムックなんです。物件を見たときは「なんてか—」いい場所なんだ—って思いましたね。こんな物件なかなか出会えないですよ。年季の入った感じもよくて。ここが厨房で、ここにテーブルを置いて、すぐにイメージが広がっていききました。そして、仲間と三人で波佐見に移住してムックを開業したんです。最初は、この場所、こんな感じだったんですよ(左の写真)。涉ちも一緒に三ヶ月くらいかけて改装して今の店のかたちになりました。

た。あとは、児玉社長^{※2}をはじめ波佐見のおじちゃんたちがいろいろと面倒を見てくれました。たくさんケンカもしながらオーブンにぎ着けました。

長瀬 価値観が違うことも多くて最初は衝突したよね。古い建具もよかれと思って撤去してくれたんだけど、その古い建具がよかつたのに—と思うこともあった。

岡田 草が可愛いなと思ってても、お客さん入れるならキレイに刈り取らないと、とかね。トイレも男子用がないなんてありえないと叱られたこともありました。でも全てもよかれと思って言ってくれたんです。お互い本気だったから、それはいいケンカだったと思います。ドラゴンボールと一緒で、ぶつかった分、仲良くなったと思う。この前、児玉社長から「最近はおまえがかみつかないからつまらん—」なんて言われたけど(笑)



以前は製陶所だった建物。連日朝方まで改装に動んだ。

—衝突の過程で、やめちゃえ！って思うことはなかったですか？

長瀬 俺はあまり苦勞していないかなあ。当時は移住者も少なかったし、最初から変人扱いされてるから楽だったと思う。みんな珍しがって良くしてくれた。

岡田 俺より先に波佐見に来て、長い時間をかけて価値観のすりあわせをやっていた。波佐が近くにいるのが大きかったよね。あと、波佐見の人はすごく親身になって一緒に考えてくれるんです。この町には^{ゆめ}無償の文化が残っているからなんだろうね。無償の付き合いが当たり前だったりする。お金とかかさ合いがなく、笑って飯食えればいいとかさ。人間同士の付き合いが見えるのがすごい。

長瀬 そうね。西ノ原が生まれたきつかけは俺らが来たこともあるかもしれないけれど、口も手も出してくれるおじちゃんたちがいたおかげだもんね。



長瀬さんの作品「ライオンフィッシュ」。海の生き物を題材に作陶することが多い。国内外の賞を多数受賞している。

岡田 あと、渉の存在ね。渉がいなかったら俺も来てないし、誰も来ていない。はなわくすいもポルトも、渉がいなくて無かった。

―波佐見で店をやりたいという人に相談をされることも多いですね。どうアドバースされていますか？

長瀬 例えばこの辺とか、中尾とかいゝ感じの場所にお店を開けば良さそうだな、つて期待を抱く人は少なくない。でも、すでにムツクとかがあるのに、似たようなことやつてもしょうがないというのが俺の考え。今の時代、流行つたものの真似をして、価値と価格の崩壊を繰り返している気がするんだけど、それは波佐見で何かをやりたいという人たちにも起こりうることだと思つてんです。同じようなことをやつても個が薄まる。俺らのやり方や生き方を垣間見えて、自分には無理だと諦めて帰る人もいるけれどそれはそれで二つの道だと思う。

岡田 簡単じゃないよって伝えますね。今は賑わってるけど赤字の時代もありましたし。それと、どの土地にもその場所を愛してる人がいて、自分たちがやって来たことで傷つけている可能性もあるから、そのことは日々忘れないでいたいですね。ムックには地元の人たちもよく来てくれるんですけど、行きたくないという人もいる。それは当然あることだと思うんです。自分たちの存在にはいい面も悪い面もある事をわかってないといけないと思う。

長瀬 仕事柄、俺よりも岡ちゃんの方が感じることもかもしれないね。

— 今後はどんな事をしたいと考えていますか？

長瀬 昨年、中尾郷に工房を移したんですよ。移り住んだ自宅兼工房も西ノ原と同じく製陶所跡で、自力で改装中です。全然終わらないから、波佐見のサグラダファミリアになりそうなんだけど……(笑) まだなにも具体的には決めてないけれど、今度はこの場所を拠点にいろいろな面白いことをしたいこうと考えています。

岡田 ムックには帰省中の若い人も遊びに来てくれるんですけど、みんな波佐見が好きなんだなあと感じます。そういう人たちがスキルを持って帰ってくるのが当たり前町のひとつの素敵だなと思うんです。「都会もいいけど波佐見もいいよね」とか、または「東京たいしたことないじゃん」って思えるくらいのムックを続けることで、わずかながらもその手伝いが出来ればいいなと思います。

※1：富本憲吉（一八六六年—一九六三年）一九五五年人間国宝に認定される。陶芸家、陶磁器の研究のため全国の産地を巡る中、波佐見にも立ち寄り、作陶研究を行う。

※2：西海陶器（株）社長。波佐見の人を呼び込むキーパーソン。西戸原には深く関わっている。P.11に出演。

※3：三人には費用・期間・労力など難しい作業を、集落長老の住民総出で助け合う制度で、労働力を交換する。相互扶助の精神で成り立つ。

話題の場所の

ディープ
な話

2

EPISODE

マネーシャ

中谷 聡さん

DA TOMMY
ポッシュイオーロ
宮田 純さん

西ノ原に次ぐ波佐見の觀光スポーツ、ミナミ田園。この場所の中心人物、中谷さんと宮田さんの話は衝撃の告白からはじまった。

宮田 俺、ピザ焼いてるけど、当時は、実はチーズ嫌いでさ。食べられなかった。

中谷（大笑）なんでこうなったんですか。

宮田 当初、清句の郷に関わったのは、こで使う波佐見焼の選定を手伝うためだったんだよね。オープン当初はいろんな人が出入りしていて賑やかで……。その中に、ザ焼きの指導をするトミーさんもいた。トミーさんが、ザを教えてくれるっていう日に限って、助手ができる人間が僕しかいなかったというのが始まり。食べたら美味しかった。それまでちゃんとしたチーズ食ってなかったのかもね。

中谷 僕は初めてここに来た時は東京在住

て、公を去つ明の世に自然と出た公は、
と思ひましに、入り即ち本々に傳はれ、
縁の中小道を進み、感と云ふ東家では、
と旅食寮外に挑むて、直ち上野やコソ
サル、のよを、と云ふて、また、
現境で、や、レム、と云ふに、可能性を感し、
はね、と云ふに、なきなき、とある、
また、手づかしの部分が多くて、
は、と云ふ、

宮田 伯明は、瀬波見貝塚時代の文化があまり育たずに土壌で埋もれたから、はじめの頃は地元の文化とほとんど変わらない。サを出土した時に「なんだあんなのは昔は三角にはない」といって、一瞬かたじけなくて笑った。

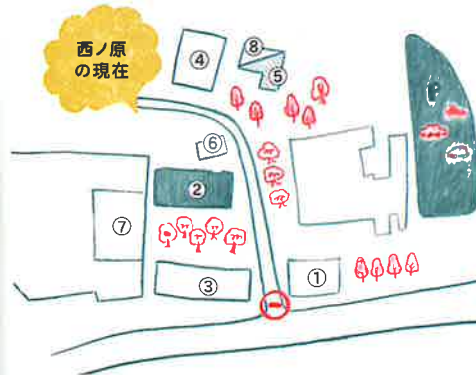


中谷 聡 Akira Nakatani

広島県出身。長年飲食業界で培った
経験を活かし、この場所からできるレ
トラムの在り方を探っている最中。

本格石窯ピザ D A T O M M Y
ピッツァアイオーロ
宮田 純 JUN Miyata
波佐見町出身。営業から飲食業へ三十
八歳の時に転身。今やすっかりピザ屋の
おじちゃんとして親しまれている。

⑦ テンプ!! 波佐見町



- ① monné legui mooks**
 岡ちゃんに会えるカフェレストラン
 ☎ 0956-85-8033
 🕒 12:00~18:00
 🍷 火・水曜日

② HANAわくすい
 衣食住に関する生活道具の店
 ☎ 0956-85-8155
 🕒 11:00~18:00
 🍷 水曜日

④ 南創庫
 焼きものを通じて波佐見ならではの
 ものづくりを紹介
 ☎ 0956-76-7214
 🕒 11:00~18:00
 🍷 水曜日

⑤ Shady
 自家焙煎のコーヒー豆専門店
 ☎ 0956-85-2324
 🕒 10:00~18:00
 🍷 水曜日

⑦ GROCERY MORISUKE
 オーガニックにこだわった
 世界の食材と雑貨
 ☎ 090-4519-2795
 🕒 11:00~18:00
 🍷 水曜日

⑧ relaxation salon ruelle
 オールハンドマッサージのサロン
 ☎ 080-6425-1433
 🕒 10:00~18:00(17:00受付終了)
 🍷 水曜日/第1・第3火曜日※予約優先

<http://nishinohara.jp/>
 ※各店のHPもこちらに
 掲載しております。

<http://nishinohara.jp/>
 ※各お店のHPもこちらに掲載してあります。

⑨ デブ!!波佐見町



児玉 盛介さん

(株)西海陶器社長。通称・シャチョー。波佐見に人を呼び込み、波佐見を外に売り出すキーパーソン。人を「来させる」「引きこむ」地域活性に取組む。自身の名を冠した食材のセレクトショップ「GROCERY MORISUKE」が5月にオープンしたばかり。

SAIKAI BASE

サイカイベース

児玉さんの元自宅

面白い人と
出会える、
つながる
宿泊施設。



【宿泊費】2000円/1泊(食事無)
【設備・備品】長期滞在に必要なもの一式。
【足りないものは近所で買って】とのこと。
【泊まる方法】/0956-85-5678
(西海陶器/担当:松尾)
※SAIKAI BASEの宿泊希望とお問い合わせください。

波佐見には、面倒見のいい大人がいる。児玉さんもそのひとり。波佐見暮らしを体験したい人や、陶磁器の研修・研究のために長期滞在したい人向けに元自宅を安価で解放している。「自分にとって有意義なことだから、多少お金がかかってもやりたいと思うんだよね」。リフォーム済みの住まいは快適だ。「場所(空き家)をただ持っただけでも仕方ないでしょ。使っただけ面白い。目的がある人、そして個性がある人が波佐見に来てくれるきっかけになるのなら大歓迎です。ここを拠点にすれば費用を抑えて滞在しできるし、町を知ることできる。移住を考える人も安心やろ?」と笑う。児玉さんは、その



提携施設はさみ温泉に徒歩1分
ホテルブリスヴィラ波佐見

波佐見町長野郷567-1
TEL:0956-85-8338
http://www.hotel-blissvilla.com/
宿泊客に、はさみ温泉の入湯券を進呈
全室Wi-Fi、iPad完備、禁煙
駐車場無料、EV充電設備あり

※その他の宿泊情報は波佐見町観光協会のHPに掲載中!



陶郷中尾山でのんびり
中尾山伝習館

波佐見町中尾郷332
TEL:0956-85-6127
MAIL:densyuukan@live.jp
HP:http://densyuukan.jimdo.com/
兼泊まりのみ/駐車場有(無料)



棚田の里で民泊体験
うんばのつくら(民泊)

波佐見町鬼木郷248
TEL:0956-85-2099(担当:波江)
朝食付き、朝食夕食付きプラン有/
食品持ち込み可/未就学児宿泊無料/
駐車場有(無料)
※ご予約は2日前迄

波佐見らしさに
触れられる
おすすめの宿泊施設

ディープな
移住マニュアル
3
DEEP!!
おためし
波佐見町。

Q 賃貸物件、平均家賃はどれくらい?

A ファミリー向け(3LDK) 5万円前後
ひとり暮らし 3万円前後

下記のホームページで波佐見地区の賃貸物件を多く取り扱っています。

東彼不動産 tel.0956-83-2473 http://www.touhi.com/
肥前地所 tel.0955-43-2572 http://www.hizenchisho.jp/



ディープな
移住マニュアル
2
DEEP!!
リアルライフ
波佐見。

A

Q

職人の
後継者のニーズは
ありますか?

やきものづくりの下請け業(生地業、石膏成型業)の後継者が不足しています。それを受けてH二十七年度から県町の補助事業で後継者育成のための研修制度が始まりました。研修期間中の生活費(月額十二万五千元)と指導料(月額九万円)を支給予定。詳しくは波佐見焼振興会までお問い合わせください。(※いずれも予定額)



波佐見焼振興会
波佐見町井石郷2255-2
電話:0956-85-2214
メール:shinkoukai@hasamiyaki.com
受付時間:[平日]9:00~17:00

はさみやきのおしごと 検索



Q 仕事はありますか? どうやって探せばいいですか?

A

波佐見町を含む東彼杵郡は「ハローワーク大村」の管轄。まずはワーク大村へお問い合わせされることをおすすめします。求人情報誌「あらもーど」は、波佐見町のホームページからも見ることができます。

波佐見 あらもーど 検索

ハローワーク大村(大村公共職業安定所)
長崎県大村市松並1-213-9
電話:0957-52-8609
開庁時間:[平日]8:30~17:15



Q 一番人口が増えている地区はどこですか?

A

圧倒的に「宿郷」です。波佐見町の真ん中に位置する地区です。ちなみに、波佐見町にある三つ小学校のうち、宿郷がある中央小学校と南小学校は数年前まで児童数が同じくらい(三百名ほど)でした。しかし現在は百名ほどの差をつけて中央小学校の児童数が上回っています。



お前も少しは
立派になったな。

鴻ノ巣少年野球クラブ

波佐見町児童野球連盟所属。町立南小学校の生徒を中心にしたチーム。セレクションなどは一切行わないながらも、全国制覇、九州大会制覇などの実績を積み重ねる。小学1年～6年まで17名の部員が所属中。練習は火・木・土の週3日、鴻ノ巣グラウンドにて。部員は常に募集中。
http://www.ikz.jp/hp/kohnosu/



チームポリシー

みんなで元気に最後まであきらめない
礼儀正しく、挨拶は大きな声ではっきりと
グラウンド内では常にかけあい
上級生を敬い下級生をかわいがる



勝つ楽しさを知るチーム。このチームでプレーしたいと町外から通うメンバーもいる。



強豪として注目を集める中、強さの秘訣を問うインタビューに
村川監督は「(遠征先でも)よく寝ること」とコメントした。

これからも
波佐見を
アツくする

1

鴻ノ巣少年 野球クラブ

現在、鴻ノ巣少年野球クラブの部員は十七名。練習時間は子どもも大人もジョークやお話を連発し、笑いが絶えない。強豪というより「おちゃらけチーム」と自称する。「さぞ厳しい特訓をしているんでしょ」と他チームに尋ねられることも多いが、一瞥の通り全くそうじゃない。ただ、楽しいから強くなるし、強ければ勝つ。そのうち、勝つ面白さを知る。」と村川監督。

野球は楽しい。勝てばもっと楽しい。十七人の純粋な想いと練習中の笑顔に、底知れぬエネルギーを感じた。

——強さの秘密は「おちゃらけ」にあり。

この春、二度の全国制覇を経験する五人のメンバーを含めた十二名が波佐見町から波佐見高校へ進学。野球部に入部した。「次は甲子園で全国制覇」が合い言葉だ。

——鴻ノ巣から始まった日本一ストーリー。

波佐見は野球が盛んな町だ。小・中・高、そして社会人チームが活発に活動し実績をあげている。子ども頃から野球を続けて来たという野球フリークも多く、小学校や中学校では野球経験者の町民が監督やコーチとして関わっている。

主に町立南小学校の生徒からなる鴻ノ巣少年野球クラブは、九州大会での複数の優勝、全国大会の制覇も成し遂げた全国でもその名を知られる軟式野球部。

実は現在、ここから始まったあるストーリーが進行中だ。二〇一一年に初の全国制覇を達成した時の六年生は、ほとんどが波佐見中学校へ進学。部活で野球を続けた。そして三年生の夏、今度は中学全国制覇を成し遂げたのである。そうなること必然的に期待が高まるのが高校での活躍だ。

丸田研二さん、敦史さん親子(株)丸田特殊印刷社長の研二さんのもと、敦史さんも働くようになり一年が経つ。「よく似てると言われます。体型が。」と敦史さん。「これ、太ってる人に声をかける取材じゃ無いよね?」と研二さん。

最近自治会に所属しない世帯も増えてきた波佐見町。そんなご時世に、世代を超えて多くの人と交流し、出会いから生まれる面白さを味わいつくしている(ように見える)丸田さん親子。

会社の敷地で開催する持ち寄り制のお

人と関わるほど
波佐見暮らしは
面白くなると思う。



MARUTA ATSUSHI

波佐見で楽しく暮らすコツ
教えてください!!

花見、バーベキューには知り合いから初めて会う人まで毎回80名以上が集まり、そこから新たな人の輪が広がっている。人付き合いの名人とも言える丸田さん親子に、波佐見での近所づきあいのアドバイスをお願いしたところ、意外な答えが返ってきた。

「うーん、今はパーソナルな時代だから、近所づきあいは避けても生きていけると思う。僕らも出会わない人は出会わないもんね。そこは個人が判断する時代なのかもしれないね。」研二さんは周囲がいくら好意的でも、その場所に馴染むまでは大変だろうと考える。

「でも、やっぱりみんな祭ごととは好きでしょ?楽しそうなことに人は寄ってくる。なんか気になるな〜と思う人たちが場所があったら、遠慮せずに近づいていけばいいと思うんですよ。踏み出せば、さっとその輪に入れると思うし、楽しいことも増えるんじゃないかな。この前やったお花見にも初めて見る人が来てたけど、次からは知り合いよ。近所づきあいもそんなものじゃない?」そうガハハと笑う。

Uターンして1年あまりの息子・敦史さんは「波佐見出身とは言え、戻ってきたばかり。今はいろんなところに顔を出して、どんな人がどんな活動をしているか情報を集めているところです。がっつり波佐見を楽しみたいし、そのためには人に会おうのが一番!。集まりにも家飲みにも「来んね!」と気軽に声をかけてくれる人が多いんですけど、呼ばれたからって行ける人は少ないかもしれませんが…。僕は、行きませうけど。(笑)」

もともと波佐見は農業と窯業の町。農作物の収穫や、窯の火入れは自分の都合だけではできないため、隣近所や同業者で協力する必然性があった。「その精神が、今でも波佐見の人には残っていると

思うのよ。個人レベルで合う合わないはあっても、それは脇に置いて協力するし、相手をわかってもらう。そんな土地なんじゃないかな。」近所づきあいをしない暮らし方もひとつ、そう理解を示した丸田さんの姿勢そのものだ、と思った。

まあ、そうはいつでも大変と思うけど。その土地にはまるまでは。(笑)



MARUTA KENJI

聞いて
みよう。

ディープな
暮らしマニュアル

4

DEEPII

新栄観光が ご案内する 波佐見人

波佐見人は
ディープな人が
いっぱいだよ！

こんにちは！あなたのわがままを叶える
トラベルエージェンシー、

新栄観光の山脇慎太郎です。

これまで、波佐見をご案内するツアーを
何度となく開催してきましたが、わたくし
思うに、この町の魅力は、人物ゆきでは
語れないのであります。

本日ご案内するのは、波佐見を盛り上
げ、その気になれば会うことができる人
ばかり。素敵波佐見・ディープな波佐
見を生み出す源となる皆さんです。そ
では、これまでで最もディープな波佐見
ツアー「波佐見の人々めぐり」はじまり、
はじまり…。



Hasamjin ①

いちのせ
一瀬 政太町長

会いに行ける
町長だよ！



「波佐見の魅力？そうね、いろいろあるけど、みんな
協力するのがうまいことかな。それが波佐見の気
質。」そう語る一瀬町長。

「農業では、田んぼは個々のもの、水はみんなのもの。
登り窯だって、ひとつひとつの持ち主は違っても、火
を入れる時はみな一緒。個々の意見ばかり主張せず
に、やる時はいっしょにやろうという町ですよ。だか
ら、今、若い人たちが業種や個人の損得を超えて盛り
上がっているのも波佐見らしいなと思って応援して
います。それに、若い人に任せてみよう、やらせてみ
ようとする流れがあるよね。波佐見をもっと面白く
してくれそうだなという期待の表れでしょう。」

町長になって十七年目。かつて経済的な成長が第一
だった時代は「活力と潤いのあるまちづくり」に努
め、現在は「人と心が通い合うまちづくり」を掲げ町
政の舵を取る。

「まちづくりに関しては、トップだけでは何もできな
いのよ。個々の力が不可欠。例えば、二十二の地区が、
それぞれ持ち味を活かすとかね。そうすれば町の力
が底からぐわっと上がる。味噌がおいしかとか、浮立
とか、蜆のおるとか、そがんとは大事にね。」

町長というよりも、なんでも相談できるおじちゃん、
という雰囲気。町のこと、未来のこと、一瀬町長と話
し合ってみるのもいいかもしれない。

あなたも会いに行ってみよう。



ココで会える！

波佐見町役場
波佐見町宿郷660
☎0956-85-2111
☎8:30~17:15
※土・日・祝日

Hasamjin ②

デザイナー
阪本やすきさん

故・森正洋さんが
呼び寄せた才能！



Hasamjin ③

パッケージメーカー
岩崎大貴さん・裕子さん夫妻

世界的ブランドの
箱も任せられて
いるよ！



阪本さんは「商品」と「製品」を明確に区別している。
「ジャーナリズムに取り上げられる商品ではなく、ユー
ザーの生活に馴染む製品を生み出した時が最も嬉しいで
すね。」デザインの原点は、暮らしの中にある。生活の中
よりよくできそうなもの、不便を解消したくなるものを見
つけます。スタンドプレーのように思われるかもしれませ
んが、製品は一人では作れない。スタッフやユーザーの意
見を吸い上げて作りあげていきます。「大阪府箕面市出身。
大学時代は金沢です。かつて同社で活躍した森正洋
氏のデザインに感動し「若気の至りで波佐見に押し掛け
た、という感じ。」と笑う。今や阪本さん自身が憧れの対象
となった今、若手に伝えたいことを尋ねてみると、僕がそ
んなことを言う立場じゃないけどと前置きした上で「波佐
見は産地。産地の力を継続するためには、ものづくりを担
う窯元が元気でない」とね。」そうエールを送った。



2014年度「グッドデザイン・ものづくりデザイン賞」を受賞した「すみのわ」
シリーズの土瓶を手に持つ阪本さん。色と質感のコントラストにこだわった。

ココで阪本さん
デザインの製品に会える！

白山陶器本社ショールーム
波佐見町湯無田郷1334
☎0956-85-3251
☎9:00~16:00
※日曜、他不定休あり



インテリアショップのようなギャラリー。ここに、オリジナル商品も展示されて
いる。購入も可。



ココで会える！

(株)岩崎紙器
波佐見町田ノ頭郷201-1
☎0956-85-2127
☎9:00~17:30
※日・祝日

売れ筋は、特殊な加工を施した
オリジナルの紙を縫って作られた
DOMESTIC MAIL

新栄観光

山脇 慎太郎さん

波佐見人案内担当



旅行業界の今後の在り方を探って
いる真つ最中という山脇さん。最近
は、ラフォーレ原宿で開催された展
示会にクリスマスマスをテーマにした架
空のツアーを引ッ上げて参加。旅行
業からは唯一の出展だった。

仲間からは「やることいったらやる男。
実行力が半端ない。」と本人のいな
いところで噂される次世代リーダー
の一人。音楽イベントの企画・実施な
どで、自分らしく地元を盛り上げ、
プライベートでは育児とゴルフに励
む。「ワークを売るのが仕事。だから
自分が常にワクワクしてないとい
ね！」

波佐見人ツアーを現実にしません
か？との問いに「いいねー」と言。そ
の実行力に期待が高まる。



ココで会える！

新栄観光
波佐見町田ノ頭郷344-1
☎0956-85-6555
☎9:00~18:00
※日・祝日



ココで会える!

アイユー
波佐見町血山郷380
☎0956-85-2600
☎[月~金]10:00~17:00
[土]11:00~16:00
※日・祝日など(不定休はwebにてお知らせ)



ギャラリーを訪れた人に
お茶とお菓子を出すことも。



ココで会える!

波佐見町観光協会
波佐見町折敷瀬郷1767-1
☎0956-85-2290
☎9:00~17:00
※元日のみ



石原さんおすすめの
「ディープな波佐見コース」は
P.38へ!

ごく普通の波佐見焼が、幸子さんの手にかかる「おもてなし器」に様変わりする。地元でもセンス抜群と支持されるコーディネート力の秘訣を聞いてみた。「秘訣なんてとんでもない。ただ、波佐見焼が好きなんです。波佐見焼を作っている人のことも大好き。だから、それぞれの器が持つ魅力を少しでも感じてもらえたらなあ、と思って」そう言ってお出されたティーセットに歓声が上がる。使われている器を大人買いしたくなる素敵さだ。アイユーを目指して訪れる客がたえないのは、幸子さんの「愛あるコーディネート」が引力のひとつになっているに違いない。

アイユーディレクター 小柳 幸子さん



「コーディネート
って、ネットを
見て、イメージを
持つ」

「実は、随分長い間、波佐見を食わず嫌いでいたのよ。自然以外は何もないと思って。」そう笑う石原さん。波佐見を「食べてみる」きっかけとなったのは息子さんの自由研究だった。「町にある石橋を探すという内容で調べてみると、沢山の石橋が残っていたんです。あら、この町は面白いのかもしれないと思いました。以降、町の歴史や文化を知ることになった。自分が感じた「面白い」がガイド客にも伝染していくのが楽しい。道中に隠れているストーリーを掘り起こして伝えるのが役目。」石原さんと一緒に町を見えてくる町の姿がある。

観光ガイド 石原 正子さん



「波佐見の魅力を
伝えていきたい」

WEBで観られる!

渋谷 修平さん



国内外で活動する気鋭の若手映像作家。CGを駆使し、独特の世界観を創り出す。実兄がボーカルを務めるバンド「PONDLOW」のMPVは鬼木の棚田で父を主演に撮影。

《プロフィール》
1986年生まれ。フリーの映像作家として活動中。HP <http://shuheishibue.com/>
《最近の仕事》
モーニング娘。'15
「青春小僧が泣いている」
MV
PONDLOW「FIRE」MV



FM長崎で聴ける!

DJ マーク こと 松尾 匡悟さん



FM長崎・看板DJ。その声は、波佐見町民が、いや、県民がほとんどが知るところ。自身で音楽イベントを主催するなどマルチに活躍中。岩永洋昭さんとは同級生の幼なじみ。

《プロフィール》
1979年生まれ。2002年よりラジオDJとしてFM長崎の番組に出演中。
《出演番組》
Spicy vox... (月~木) 16:00 - 18:53
決定版FMヒットパレード... 第一部 (土) 17:00-18:00 / 第二部 (日) 18:00 - 19:00

TVや映画で観られる!

岩永 洋昭さん



イケメン&長身の波佐見町出身の俳優。戦隊ものでの活躍と昼帯ドラマへの出演で「親子で岩永君ファン」の町民も多い。

《プロフィール》
1979年生まれ。モデルを経て俳優デビュー。
《主な出演作》
「仮面ライダーオーズ/000」(10年)、昼帯ドラマ「花嫁のれん」(11年)、劇場アニメ「ベルセルク黄金時代編」シリーズ(12~13年)、舞台「WORLD」(13年)、Vシネマ「宇宙刑事シャイダーNEXT GENERATION」(14年)などがある。

番外編



「波佐見出身の
みんな!」



ココで会える!

ジャズ喫茶 Doug
波佐見町折敷瀬郷1767-1
☎0956-85-6639
☎17:00~24:00
※日曜



佐世保で生まれ、東京で音楽と共に青春を過ごした立石さん。その後移り住むことになった波佐見について「音楽のない田舎だった。」「音楽好きの自分が住みやすい町にしたいな」と思いついてまず拠点づくりから始めた。」とジャズ喫茶開店のきっかけを振り返る。

ミュージシャンの気持ちまで伝わるような「生の音」を追求。音響にこだわり定期的にセッションを行う「ダグ」は評判となり、今では全国からファンが集う。「音楽は楽しむもの。自分が楽しめば周りも楽しくなる。人生も同じかもね。」立石さんの眩しがこだまする。



ココで会える!

リエスタ
波佐見町宿郷794-4
☎090-9488-0618
☎月曜日(初級、中級、上級一般)
火曜日(Ur.High、上級)



「ダンスは、踊る人も見ている人も幸せにする力を持っていると思います。」リエスタでは幼児から大人まで三十三名の生徒を持ち、他にも福岡、ハウステンボス歌劇学院でも講師を務める。ダンス一色のハードな日々を送る福田さん。普段はおっとりとした天然キャラ。一変、ダンスをする時のクールな姿に「本当に同一人物?」と言われることも。「舞台上に立つときは自分が不安だとか調子が悪いとか、お客さんには関係ない。全力で踊るのが人前で踊る人の責任なんだよ、なんて厳しいことも言うんですよ。」とにこり。理恵先生に憧れ、今日も子ども達はレッスンに励んでいる。

ジャズ喫茶マスター 立石 聡さん



「波佐見の魅力を
伝えていきたい」

ダンス教室主宰 福田 理恵さん



「波佐見の魅力を
伝えていきたい」

日用食器創作家 眞崎 善太さん



「波佐見の魅力を
伝えていきたい」



ココで会える!

一真窯
波佐見町中尾郷670
☎0956-85-5305
☎10:00~17:00
※土・日(不定休はwebにてお知らせ)



「人がいるから器があるのよ。人がどんな暮らしをして何を求めているのか、常にアンテナ張っておかないとね。」落語家のような軽妙な語り口と愛嬌ある笑顔で、たちまち周囲を虜にしてしまう眞崎さん。工房では真剣な眼差しで一心に器と向き合う職人。数々のデザイン賞を受賞している中尾の有名な人だ。白磁と手彫りの美。カンナによって光が透けるほど薄く削り込まれた器は、手の中にしっくりと収まり口当たり心地よい。

伝統の技に裏打ちされたシンプルモダンな一真窯の器。使う人のことを思って作られるからこそ、人々の心を掴んで離さない。



は
さ
み
子
育
て
フ
イ
フ

お庭がある。系衆がある。贅沢な子育てができる町。

Q. 波佐見で子育てをする良さを教えてください。

A. 緑豊かで、自然に学べること。

いろんな野菜が季節ごとに穫れますし、子どもたちも自然にいろんなことを学んでくれています。緑の多い町だから公園もいくつかありますが、うちの子はやきもの公園がお気に入りです。お庭がある家が多いから、目の届く範囲でお外で遊ばせられるのもいいことですよね。(浩子さん)



やきもの公園

陶器市のメイン会場にもなる公園。イベント開催多数。世界各地を代表する窯が12基再現されています。大きな窯が子ども達に人気。



親子で遊べる人気の公園



鴻ノ巣公園

南小学校の真裏に位置する公園。芝生広場、遊具広場、展望台などがある。お弁当を持った親子連れで賑わう憩いの場所。春にはお花見が楽しめる。

河川公園・桜つつみロード

川沿いに整えられた桜並木の遊歩道と河川敷に設けられた公園。愛犬も一緒に散歩をする親子連れの姿がよく見かけられる。



生徒数
151名

町立 東小学校

校訓「思いやり やる気」
波佐見町湯無田郷808番地



生徒数
384名

町立 中央小学校

校訓「心やさしく たくましく」
波佐見町折敷瀬郷1986



生徒数
452名

町立 波佐見中学校

波佐見町に中学はひとつだけ!この町に暮らす同級生はみんな、おなじ校舎で学ぶから、横のつながりが強くなります。
校訓「己に厳しく 人に優しく」
波佐見町折敷瀬郷1999

町立 南小学校

校訓「かしこく つよく 明るく」
波佐見町長野郷228番地

生徒数
286名

波佐見の学校

三つの小学校とひとつの中学校があります。



富永 浩子さん
佐賀県有田町出身。4児の母。趣味は雑貨作りとおやつ作り。母娘揃いのエプロンも手作り。こころちゃんの方は撮影前後に撮ったそう。

は
さ
み
子
育
て
フ
イ
フ

子育ても、好きなこともディープにたのしむスーパーママ 浩子さんの波佐見暮らし。

波佐見には庭つきの一軒家が多い。浩子さんちの裏庭は「mousouの森」と名付けられている。「子育てをしていると、ふらりとカフェに行くとか、買い物に出かけるとか、当たり前前にできていたことも難しくなる。妄想するしかない時期があると思うんです。そんな妄想をしていた場所だからmousouの森なんです。」妄想を現実にしたのも、この森だった。きっかけは、一杯から届けてくれる出張カフェを知ったこと。お菓子作りが得意な友人も呼び、イベントを開いた。そこを始まりに趣味や特技を持つ仲間が自然と集まり、開催することに規模も大きくなった。最終的には約三百名がこの森に集った。出展後、活動を本格化させたママ仲間もいる。その活躍に後押しされるように、イベント企画や新たなアイテムの製作に意欲的だ。「子どもたちが元気で、夫のサポートがあつてこそできること。だから、家族を第一に無理なく続けて行こうと思います。」
今後は野菜づくり、果物の栽培にもチャレンジしたいと話す。
取材チームを鬼木のきなこを使った手製のクッキーとお茶でもてなしてくれた浩子さん。手の届く範囲で、もっと楽しい暮らし方を実現する姿とその人柄に、ファンが多いのも納得だ。

波佐見イベント カレンダール

HASAMI EVENT CALENDAR

1月

波佐見町一周駅伝

【会場】波佐見町全体 毎年一月
町内二十二地区による地区対抗戦。
練習を重ねたランナーが町内を走り抜けます。



毎年春分の日

ロードレース大会

【会場】波佐見中学校スタート〜周辺
小学生から一般まで幅広い年代の参加者で賑わいます。
町外からも多くのランナーがエントリーしています。



3月

桜陶祭

毎年四月第一週目の土日

【会場】中尾郷一帯

陶の町の風景を最も色濃く残す中尾郷で桜の咲く頃に開催されるお祭り。
日頃は作陶に使われる工房や工場が一般公開され、そこで展示販売されます。
風情ある町並みを歩きながら複数の窯を巡って作り手との交流を
楽しめる。あり全国からファンが訪れます。各窯元から出される
数量限定のオリジナルの陶箱弁当(予約制)が人気。



4月

波佐見陶器まつり

毎年四月二十九日〜五月五日

【会場】やきもの公園など

波佐見が最も多くの人で賑わう、町の一大イベントです。
メイン会場のやきもの公園には巨大なテントが設置され、
約一三〇社の商社と窯元が出店します。
この数年はおしゃれな女子旅グループが
多く見かけられる様になりました。



毎年八月二十一日

皿山人形浄瑠璃奉納公演

【会場】皿山郷一帯

県指定無形民俗文化財の皿山人形浄瑠璃。享保の大飢饉の頃、
五島や平戸などに興行して食料を得て飢えをしのいだのが起源とされます。
現在は皿山地区の人を中心に約14名が芸に打ち込み、
毎年公演を行って芸の伝承に努めています。



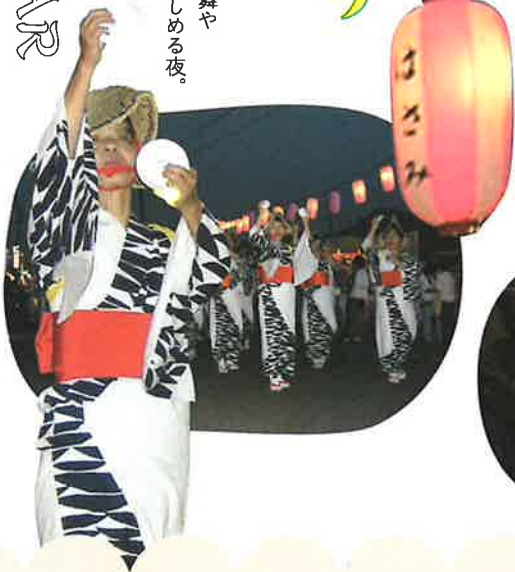
8月

はさみ夏まつり

毎年八月二十八日

【会場】ミナミ田園周辺

宿題を終えていない波佐見っ子が涙目になる頃。
ミナミ田園周辺は夏まつりで賑わいます。各地区の演舞や
バンド演奏などの演し物、ビアガーデンなどの出店を楽しめる夜。
クライマックスには火花が打ち上げられます。



駅伝に 真剣すぎる！

ディープな小咄



冬の波佐見に増えるもの。それはランナーの姿。
歩道や川沿いの桜並木が整備された波佐見に
はもともとランナーが多いが、冬になると駅伝
出場の練習をする人たちが加わる。波佐見町
一周駅伝は楽しければいいという大会ではな
い。勝ちにこだわったアツいレース展開が繰り広
げられる大会なのだ。それを証拠に、駅伝を走
るためだけに帰省する学生ランナーも多く、地
区によっては「予選会」を開催し、勝てるチー
ムをつくる。村木郷においては予選会を毎年元日
に行うというのだから選手は正月ボケしている
場合ではない。一方、練習後にもなく開催さ
れる「反省会」という名の飲み会も、駅伝人気
を支えるのに一役買っているのは間違いないだ
ろう。当日は治道から沢山の声援。だいたい知
り合いの町だから、みんながみんな
を応援する。

知らないラン
ナーがいっても「誰か
知らんけど…頑
張って!!」と応援
する。選手も、補
欠も、伴走者も、
応援する人も、み
んなが真剣に楽
しんでいる。それ
が波佐見の駅伝
なのだ。



今年の優勝チームは宿Aチーム。連覇中!

「せんとろう」が 濃すぎる！

ディープな小咄



ディープな波佐見がいや、ディープすぎる波佐
見が垣間見える場所がある。各地区で開催さ
れる「せんとろう」と呼ばれる祭だ。かつては沢
山の灯籠を並べたことから千灯籠と呼ばれ「せ
んとろう」と呼ばれるようになったという。地区
という親しい関係性の中開催されるため、プ
ライベート感抜群。だからステージの無礼講が
すごい。毎年、演し物のクオリティの高さと過
激さで話題になる鬼木郷は、町のケーブルTV
すらも取材NG。その内容を知りたいなら八月
十日に鬼木郷公民館に足を運ぶしかない。

↓鬼木せんとろうの一幕。
出版物に掲載できるのはここまで。



9月

鬼木棚田まつり

毎年九月二十三日

(通称・かしまつり)

「会場」鬼木棚田・グラウンド
 稲穂が頭を垂れる頃…。日本の棚田百選にも選ばれる鬼木棚田に、百体以上の案山子が表れます。世相を反映した時事ものから「思わず道を尋ねてしまう」と評判のリアルなもので、作り手の工夫とユーモアが感じられます。グラウンドに設けられた会場では棚田新米や農産物のほか、鬼木地区の加工所で作られる味噌やかりんとうなどが販売されます。

隔年開催

町民運動会

「会場」中学校グラウンド

子どもからお年寄りまで参加する町民運動会。地区の結束力がある分とても盛り上がりです。

毎年十月上旬

峡の里 豊穰太鼓祭り

「会場」田ノ頭郷河川公園

県内外から多くの太鼓チームや三味線奏者が参加して開催されます。

毎年十月下旬

秋陶めぐり

「会場」中尾山一帯

春の桜陶祭に続き、紅葉が始まる頃に開催される中尾のおまつり。趣向を凝らした企画展も同時開催されます。

11月

はさみ炎まつり

毎年十一月第一日曜

秋の収穫を祝うお祭り。波佐見は「半農半陶」という言葉もあるほど、農業も盛んな町。農家主催の青空レストランや直売会などが人気です。

毎年十一月上旬

町民文化祭

「会場」総合文化会館

波佐見は文化系の活動も盛ん。年に一度の文化祭では、合唱、ダンス、日舞、生け花など、幅広い文化活動が一堂に上演・展示されます。

毎年十二月上旬

皿山器替えまつり

「会場」皿山郷一帯

皿山地区で一年の終わりに、古い器・不要な器を持参すれば、各店で好きな器を半額で購入できるエコなおまつり。集まった器は、エコタイルとして再利用されます。



作品名「老婆の休日」



また話かけられたさ。

ディープな小咄

3

練習無しでも上手すぎる！
 木村定二さん

形ができて窯に入るまで。器たちが載っている2m弱の細長い木の板、皿板。この皿板を担いで走る波佐見ならではの競技が『皿板担ぎリレー』だ。割れにくい石膏の型を皿板の両端に載せ、数十メートル先のコーンを周って次の走者へ繋ぐ。

そんな皿板担ぎ名人の一人が、型に泥を流し込んで器の生地を作る『鑄込業』三代目の木村定二さん。工房の中、繊細な生地が並ぶ皿板をいとも簡単に運ぶ様はまさに職人技。その腕前は運動会でも遺憾なく発揮される。毎年、事前練習はせずぶっつけ本番。自分より上手な人が多いと語った後、「もつと壊れやすい器を載せて落とさないっていう競技なら、名人かもね。」と木村さんは笑った。



すごい...

ディープな小咄

4

奇妙すぎる！
 馬庭

毎年十一月一日に開催される奇祭がある。五穀豊穰を祝う伝統行事「馬庭」だ。あまりにディープすぎて、波佐見町民といえど知っている人は少ない。農作業で活躍した馬や牛をいたわりお灸を据えたのが始まりという。参加者は神主や村人などそれぞれの役回りに扮し、口上を述べ合う。途中、言い間違えとその場で湯呑みにつがれた酒を飲み干す。なんだか飲みたいたけの行事の様な気がするが、れっきとした伝統行事。折敷瀬郷の限られたエリアで、六世帯がもしまわりで開催しているにも関わらず、百年以上続いている。



まるでコントのような伝統行事。



十七文字の波佐見

露万朶 峽の一村 まだ醒めず

岳辺田郷 川崎三郎

緞やすめ 万緑の風 深呼吸

折敷瀬郷 神近まき

冬日射す 棚田の里の 静もりて

岳辺田郷 河内ハルエ

風色も 黄金に染めし 麦の秋

折敷瀬郷 安弘千鶴子

里囲む 土手のうねりや 雉の声

川内郷 古川恭子

バス停に 米山とあり 麦の秋

四山郷 田崎房代

湯気たちて 粉雪かすむ 湯の宿に

長野郷 松村すずな

どーぶりと 青嶺映して 波佐見川

川内郷 久村ムツ

明日を知る 夕焼雲に 心乗せ

井石郷 田崎学

峽の里 春月重く 移らへり

岳辺田郷 山口美由喜

俳句 若葉句会

波佐見裏百科

「波佐見ってどんなところ？」
地元人だからできる自虐ネタ、地元人だから知っている自慢の数々。言いたいけど、聞かれないと話題にできないこともあるよね。町の広報にもホームページにも載らないかもしれないけど、波佐見人なら誰もが共感できる波佐見ネタ、集めました。

FACEBOOKで
つながらなくても
だいたい知り合い。



「じゃあ、今度、家に遊びに行くけん！」
ホントに来る。それもすぐ来る。気軽に泊まるしご飯も食べる。洗い物もお手伝い。まるで家族の二員です。



光ネットが
2つある。



波佐見は町全体に光回線が整備されている数少ない自治体。そしてそれは別に、人から人へ光の速さで情報が共有される人光ネットも整っています。「幼なじみの結婚、自分より先に両親が知っていた」などは、波佐見あるあるのひとつです。

あいさつがすごい！！



波佐見の子どもたちは良く挨拶をする。と評判。ぜひ登校時間の町を歩いてみて。気持ちのいい朝になることまちがいない！

隣町でも
通じない時がある
波佐見弁。



JRの駅は無い。
でも前向きに解釈すれば
最寄り駅が3つある。



「川瀬駅」「三河内駅」「有田駅」
以上、波佐見の最寄り駅でした。

長崎で唯一の
海がない市町村。



波佐見人の自虐必殺ネタその①。

世界第1位と
世界第2位が
ある。

登り窯跡の規模、世界一位と世界二位が波佐見にあるのです。あまり話題にならないのは、本当の自慢話になっちゃうからだと思います。
もう、シャイなから！



給食は フレニッカ！ (フレヤスカ！)

日用食器の町、波佐見。今から約二十数年前、学校給食の器に「フレニッカ」が採用されました。「普通の磁器より3倍強い」とまるでガ○ダムのお方のような食器です。現在はスクールウェアとセーフティワンが使用されています。



小道には 皿や陶片が 落ちていてる。

本当なら不思議なことなのに、みんな慣れていて気にしない。「ものほら」の名残でしょうか。

ニロがスタンダード。

ふたぐち



お酒を入れる口と、注ぐ口がそれぞれあるから「二口」。波佐見でとっくりといえはこれがスタンダードです。



ハマは子どもの 遊び道具。

川底に沈む白くて丸い石。昔はハマと呼ばれる、やきものを焼成する時に乗せる台。水切りが上手い、くため、子ども達の遊び道具になっている。ただ割るだけでも楽しい。

微妙に遅刻する 波佐見時間。

時計を十分ほど遅らせれば波佐見時間です。



野生の王国。

野良犬、野良猫よりも、インシンのほうが身近です。



かわいいけど、
要注意なものもあるよ!!

食器棚には 家族の 人数以上の皿。

やきものの町の贅沢な日常が垣間見えるのが食器棚の中。多くの家庭で、家族では使い切れない枚数の皿がぎゅうぎゅう詰まっています。



ワイルドな おじちゃんたちがいる。

竹を切り、門松をつくる。素山子も作れば、狩猟の季節には「インシンの足いらんね？」とありがたい申し出も。自分で作り、自分で獲ってくる器用でワイルドなおじちゃん達が多い。



想像以上のリアルさに
誰しも息をのむ。



ロボットに びっくりする。

いるとわかっていても毎回驚いてしまうリアルな動きの給付けロボット源さん。陶芸の館で会えます。時々、ヒゲをそっていると、モデルとなった人物には諸説ありますが、正解は誰なんでしょうね。



BUONO!

ブリ かまから
自家製ピザまで
何でもござれ

③ LOLO
めんたいクリームパスタ
(¥720)

洋食も和食も!
3世代を満足させる本格の味。

ディープ度 ★



りょうくん

ボリューム満点
なのに思わず
ペロリ

⑤ ココット
トルコライス (¥800)

ディープ度 ★



メニューいっぱい、お腹
いっぱいがモットー。家
族連れに人気。

食材も人材も
オール波佐見産

⑦ ファームガーデン野の風
薔薇紅茶 (¥750/大) 串揚げ (¥320)

野々川郷産の茶葉とバラが贅沢な紅茶。
地元野菜の惣菜は「おふくろの味」。

ディープ度 ★★



きみちゃん



② 福田屋
カステラ (¥2,000/1斤)
コスト度外視、美味しさ重視。
他のカステラが食べられなくなる。
※事前に問い合わせが確実。

ディープ度 ★★★★★



変わりゆく
時代の中で
変わらぬおいしさ

お客さんとともに増えて
いくメニュー



大将

④ まこっちゃん
焼鳥 (¥110 ~)
生ビール (¥550)
トマトピザ (¥700)

ディープ度 ★★★★★



週3回通う常連さんも、飽きない
ように。財布にも体にも優しい店。



⑥ 原味噌本店

麹麦みそ (¥670/1kg)
麹あわせみそ (¥720/1kg)
粋米みそ (¥770/1kg)

おすすめレシピは、塩の代わり
に味噌で握る「味噌おにぎり」。

ディープ度 ★★



たけちゃん

⑧ 百笑会
干し玉ねぎ (¥600)
玉ねぎ皮茶 (¥680)

有機農法の玉ねぎは、加工
してもその旨さ・栄養とも
に健在。

ディープ度 ★★★★★

味にこだわる
有機野菜



中尾さん

① 居酒屋シルクロード

波佐見町折敷瀬郷 2195-2
電：0956-85-3670
営：月～土 17:00～24:00
日 15:00～24:00
休：不定休
P：有

② 福田屋

波佐見町折敷瀬郷 2136
電：0956-85-2212
営：10:00～18:00
休：不定休
P：無
店頭販売のみ、事前の電話が
より確実

③ LOLO

波佐見町宿郷 499 2F
電：0956-85-2905
営：17:00～23:30
(L.O.22:30)
休：月曜日(月曜が祝日なら
営業、翌日火曜休)
P：有

④ まこっちゃん

波佐見町折敷瀬郷 1851-13
電：0956-85-3666
営：17:30～24:00
(OS23:30)
休：火曜日
P：有

波佐見に
海の幸を運ぶ
仙人



お父さん

① シルクロード
刺身 (¥500 ~)

旬の味、素材の味を楽しむプロ
フェッショナルがいる。

ディープ度 ★★★★★ MAX

旨かもん
しか出さんよ!

小さな建物の扉を開けるとそこには
深海のごときディープな世界が広
がっている。
長崎県で唯一海のない波佐見町で、
とびきり新鮮な海の幸が食べられる
ことはほとんど知られていない。
毎日往復2時間かけて、海辺の西
海町まで仕入れに出かけている店
主のおかげだ。
しかも同じものをたくさん、で
はなく多くの種類を少しずつ。
わずかな期間しかとれない旬
の魚介や海藻、山菜や野菜が
店主の狙いだ。最低限の調理
で素材の旨さを引き立てて
しまふ、白ひげの店主は、
現代を生きる仙人なのか
もしれない。

⑤ ココット

波佐見町田ノ頭郷 208-7
電：0956-85-6594
営：平日 11:00～22:00
(OS21:30)
日 12:00～21:30
(OS21:00)
休：月曜日 P：有

⑥ 原味噌本店

波佐見町折敷瀬郷 1676-8
電：0956-85-2257
営：8:00～18:30
休：日曜日 P：有
農産物直売所どろんこの里、ネット
ショップ他でも取扱。近隣配達可。
原味噌

⑦ ファームガーデン野の風

波佐見町野々川郷 1360-2
電：090-3882-3093
営：11:00～18:00
休：月曜日 P：有
農産物直売所どろんこの里、他で
も取扱。お弁当の電話注文も可
(3～7日前までに要予約)。

⑧ 百笑会

波佐見町村木郷 1777 番地 1
電：0956-56-8313
FAX：0956-56-8330
農産物直売所どろんこの里、
VEGELIFE、ネットショップ他で取
扱。電話・FAX 注文可。
ふるさと 21

有限会社西海園芸 庭師
山口 陽介さん

1980年波佐見町生まれ。有限会社西海園芸常務。高校卒業後京都の庭師の元で作庭を修業し、ガーデニングを学ぶためイギリスに渡る。王立植物園Kew内の日本庭園を担当しつつ、イギリスの生活に根ざしたガーデニングを学ぶ。帰国後、長崎に拠点を置き、日本全国、世界で作庭や町おこし、ワークショップ、講演会等で活動。煎茶道方円流師範。東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー銀賞、ガーデニングジャパンカップ最優秀賞、ガーデニングワールドカップ銅賞・特別賞、シンガポールガーデンフェスティバル銀賞の他、国内外で多数受賞。

これからも
波佐見を
アツくする

3

現在と未来、 二つの視点。



川内郷の菖蒲園。この周辺を若いアーティストがレジデンス的に利用できる半農半アート村にしたいと考える。波佐見出身のアーティスト松尾栄太郎さんとの対話から生まれたプロジェクト。

インタビューの間、山口さんには常に二つの視点があると感じた。一つは、今を注意深く見つめる目。もう一つは、未来を見る目。それも、かなり遠い未来まで見渡せる目だ。

通常の庭づくりでは、少なくとも五年先の風景を浮かべる。「草木は命。植えてから成長して、それでやっと思いついている庭になる。僕が良く実践する作庭の場合はまず五年後が目安です。」川内郷につくった菖蒲園の場合は、その倍の十年がかかったと振り返る。そして、菖蒲園の脇に小さく盛り上がった山を指し「あと三十年くらいすれば紅葉で有名な山になりますよ。」そう教えてくれた。

確かな技術と、京都とヨーロッパで培ったセンス。建築への造形も深い。誰の受け売りでも無く、自ら考え続ける姿勢で得られたであろう哲学的思想。そんな庭師が放つて置かれるはずは無く、今や全国から声がかかる売れっ子だ。第線で活躍する他の職人との仕事も増えている。

現在、鎌倉では茅葺き職人や左官の若手と組んでお寺の仕事に取り組むが、その目標は文化遺産だ。「僕らの今の最高の技術をぶつければ、このお寺は文化遺産を狙えるはず。なぜなら千年残すつもりでやっていますから。」そして、こう付け足した。

「文化遺産は、なるものじゃなく造るものです。」

その目は町のこれからも見据える。現在、家業以外に最も関心を持っているのが町おこし。山口さんは、若く食べていけない芸術家呼び寄せて半農半アートの村をつくるという。すでにプロジェクトは動き始めている。「その村は波佐見の二十三番目の地区になるんです。若い人とお年寄りが世代を超えて交流します。例えば、お葬式の時にいくら包めばいいのか教えてもらえらるんですよ。農作業も一緒にやる。若い人が多いから町民運動会でも強くて、その村が十連覇するんです。」

その目にしかみえない未来を現実にしてきた山口さん。

波佐見に二十三番目の地区は必ず生まれる、そう思えた。

これからも
波佐見を
アツくする

2

つukれない 商社の、 戦い方。

株式会社マルヒロ
ブランドマネージャー
馬場 匡平さん

1985年波佐見町生まれ。アパレル業界で働いた後、2007年に家業を継ぐためにUターン。2010年に新ブランド「HASAMI」を発表。「道具としての陶磁器」をコンセプトによく使い込まれ、使い古される商品の開発、販売をおこなう。各地の作家やブランドとのコラボレーションにも取り組む。今、最も波佐見で注目される一人。



今年の春にリニューアルした店舗のシンボルは、生地を積み上げた白い床。「いろんなカタチがあるでしょ?これも波佐見ならではの。」ここにも波佐見の縮図がこめられている。

波佐見焼ってどんなもの?そう聞かれる度に困っていた。

「窯元なら作っている現場とか職人さんを見せられるけど、商社はそれができない。うちだからできる波佐見焼の伝え方を考え続けていたんです。」その結論は新作の「蕎麦猪口大辞典シリーズ」で実践した。全九十種を八社の窯元が分担して作る。

「窯元にはそれぞれの得意や持ち味があります。複数の窯元に依頼することで、いろんなテイストのものが上がってきますよね。蕎麦猪口という一つのお題に対してのこの圧倒的な振り幅こそが波佐見焼なんです。窯元単独ではできない、商社だからできる波佐見焼の見せ方です。」

蕎麦猪口大辞典シリーズにおいては、技法売りにも挑戦した。ブレンなもの、転写シールで模様がつけられたもの、手描きのものと、その技と手間と価格を明確に分けたのである。

二人の芸術家がいるんじゃないやなくて、大量生産に活かせる技を持っているのが波佐見。技法売りもこの産地ならではの。」

波佐見焼の縮図が込められた蕎麦猪口は、手に取った人に波佐見の特長を語れるツールとして成立し、物語のある商品になっている。これぞ商社のものづくり、商社の戦い方だ。

インタビュー中、何度も「僕は作ることではないから」と口にした馬場さん。その思いが、独自の波佐見焼の伝え方に発展していた。

新ブランドHASAMIの発表から常に注目を浴び続けてきた馬場さんに今後の展望を聞いてみた。「自分のところだけ目立つてもダメ。今後生き残るには、業種を超えて協力して波佐見の魅力を伝えないとやばいなって思ってるんですよ。この先はモノの価値よりも、ここでの人達と一緒に何か分かち合いたいという価値が上回るはず。場所と人に魅力を感じて波佐見に来てもらえるようにならないといけないと考えています。」

産地全体を考えるマルヒロのものづくりは、コミュニティづくりへと広がりをみせるだろう。

町トリセツ

波佐見町の基本情報

波佐見の場所

長崎と佐賀の県境の町
波佐見町は長崎県と佐賀県の県境の町。大村湾側の隣町は川棚町、佐賀県側には陶磁器の産地として古くから栄える佐賀県有田町があります。更に欲張って言えば、佐世保市のハウステンボスや図書館で有名な武雄市まで車で二十五分というビックリな位置にあります。



アクセス

高速のインター有り。JR駅は無し。
車を所有して暮らすには最高。
波佐見有田インターを起点に各方面にアクセスしやすい、町のほとんどの施設に無料の駐車場があります。
長崎・佐世保・福岡方面の高速バスも停車します。



波佐見町役場			
車	長崎	高速道路 約55分(66km)	波佐見・有田IC 一般道路 約5分
	福岡	高速道路 約1時間20分(102km)	波佐見・有田IC 一般道路 約5分
	福岡IC	高速道路 約1時間10分(96km)	糟野IC 一般道路 約15分
飛行機	東京	飛行機 1時間45分	長崎空港 タクシー 約10分
	大阪	飛行機 1時間10分	大村駅 JR 約20分
JR	長崎	JR 1時間	川棚駅 西肥バス 約30分
	福岡	JR(特急) 1時間20分	有田駅 タクシー 約15分
	博多駅	JR(有田まで特急) 1時間30分	三河内駅 西肥バス 約20分

地形

緑の山々に囲まれた盆地
長崎県で唯一の海無し市町村。
町をぐるりと囲むように百メートル、五〇メートル級の山々が連なる波佐見町。町の中央を東北から南西に川棚川が流れ、大村湾に注いでいます。



気候

一年中比較的温暖。
冬は、寒い！
長崎県という温暖なイメージを持たれます。それは間違いないのですが、波佐見は盆地のため冬は冷えます。川棚町はなんともないのに、波佐見に入ったとたん積雪していることも。一方、町を取り囲む山々が強風から守ってくれるため「波佐見町を除く県外全域暴風警報」という天気予報もおなじみです。夏は山間部ほど涼しく過ごせます。



自然

水も緑も、空気もきれい。
子どもたちが自然と一緒に成長できる環境。
自然がたくさん残っている波佐見町。澄んだ川には蜚が生息し、湯無田郷の田んぼ、川内郷では季節になれば乱舞が観られます。夏休みの昆虫採集も町全体で楽しめる定番のレジャー。自然や生き物に触れながら豊かに成長できることから「のびのびした子育てに最適」と近隣の市町村から転居してくる人々もいます。



人のノリ

最初は人見知り。
一度話せばみんな身内。
一度心許せばあとはどこまでもフレンドリー。「面倒見が良い、世話焼きが多い。」といわれることが多いのは、一度話せば身内同然、放っておけない波佐見気質の表れと言えます。

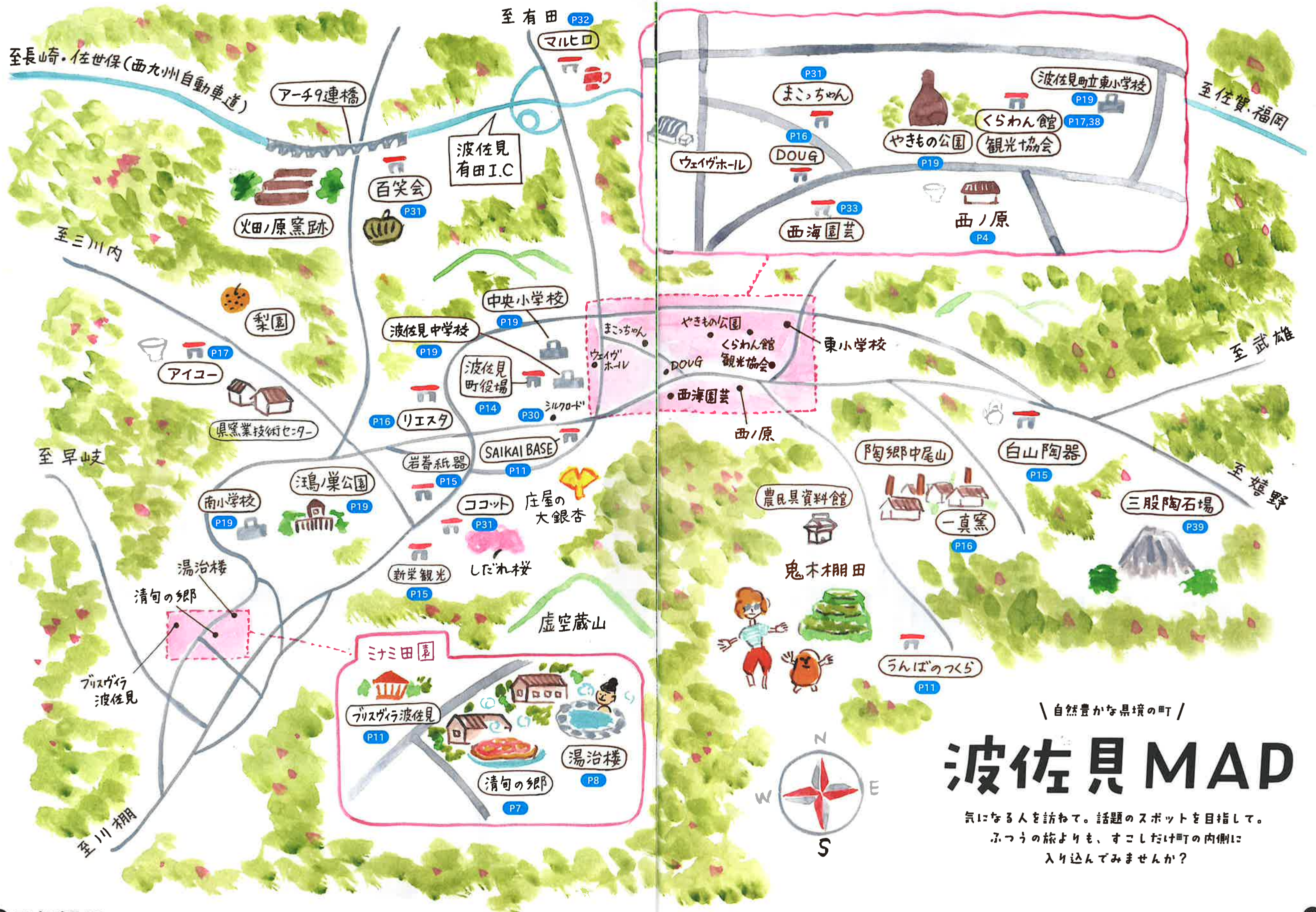


移住

第二の人生を送る場所としてはもちろん、
若い家族にも陶芸を志す若者にもおすすめ。



のんびりとした環境と、ここに暮らす人々が持つフレンドリーな気質。耕作地や住宅用の土地も比較的手に入りやすいことから、移住先として注目されることが増えています。
また、やきものに携わるにはこれ以上無い環境であることから美術系の大学出身の若者からも就職先・居住先として選ばれています。同じようにやってきた先輩たちが親身に相談に乗ってくれるでしょう。
今、波佐見町は三十代の若手が結束して町を盛り上げています。若い人が元気な町だからこそ、移住するには安心だと思いませんか？



旅のガイドブックの一步内側をゆく ディープ!!波佐見町

平成27年7月1日発行

編集後記

地元・波佐見町が、最近、これまでにない輝いて見えるようになりました。年齢のせい?ではなく、波佐見の人たちがとても楽しそうだからだと思います。波佐見のおすすめを聞かれる事も増えました。いい場所も、いいものもたくさんあるけれど、一番自慢したいのは波佐見の「人」だと気づいてまもなく、このガイド本に関われたのはとてもラッキーでした。会ってみなくなった人がいたら、波佐見にお越しただけると嬉しいです。ここにはおさまらなかった皆さんのディープな波佐見があることをお約束します。そして、「ディープ!波佐見町」は、波佐見の皆さんのご協力無しでは1ページたりとも作れなかったものです。快く取材をうけてくださった皆様、ネタの提供をいただいた皆様、ご協力いただいた全ての方にお礼申し上げます。(編集長)

STAFF LIST

編集長	村川マルチノ佑子
取材・執筆	村川マルチノ佑子 藤村 志乃美
アートディレクション	羽山 潤一 (DEJIMAGRAPH)
デザイン	吉村 隆治 (デザインショップ) 西村 明洋 (DEJIMAGRAPH) 張 ばいれいあ (DEJIMAGRAPH)
イラストレーション (表紙・波佐見町観光図・波佐見MAP)	中島 彩
写真	前田 耕司 (Ushiro) 藤村 志乃美
企画	立川 裕大 (t.c.k.w)
発行	波佐見町 〒859-3791 長崎県東彼杵郡波佐見町宿郷660 Tel 0956-85-2111 Fax 0956-85-5581 town-office@town.hasami.lg.jp
印刷・製本	株式会社インテックス



波佐見焼の番号札

三股地区の名物、波佐見焼で作られた番号札。約40年前、地元の皆さんの手で設置されたもの。タクシーの運転手さんには番号を伝えればそこで降ろしてもらえます。



9 陶石場 波佐見焼はじまりの場所

かつてはオパールが採れることで知られた採石場。ここで1602年に陶石が発見されました。この瞬間、波佐見はやきもの町として歴史を刻み始め、三股は採石場を有する地区として栄えます。繁栄の歴史は、馬車道の跡、住居の石垣の跡、整備された水路、あちこちに見かける鳥居にうかがえます。採石場から近い場所には登り窯がつくられ、その周辺には出来の悪かったやきものを捨てた場所「物原」が生まれ、出荷するための道路が整えられました。三股には採石場を中心に産地が出来上がっていく様が凝縮されています。



ここもディープ!

〔国の登録有形文化財〕講堂

昭和12年、波佐見尋常高等小学校の講堂兼公会堂として建てられた木造洋館。一時は取り壊しの議論もされたものの、その歴史的価値が認められ、保存されることに。波佐見は小さな町ながらも合唱団が3つ、学校の吹奏楽もレベルが高い音楽の町。音響が素晴らしいこの講堂では、音楽を愛する有志「波佐見講堂ファンクラブ」によって定期的に演奏会が開かれています。



三股は昔ながらの自然が残る場所。自分が子どもの頃と同じなんです。



8 林潤一郎さん

蹴ろくろで作陶する林潤一郎さん。疲れませんかとの問いに「コツがあるからそうでもないですよ」と笑顔のコメント。



5 間府池 まふいけ

陶石採掘のため、発破でうまれた洞窟。ひんやりとした風が吹いてきます。



6 三股川

三股歩きで最も印象的だったのが地区を縦断する小川。散策中はずっと小川のせせらぎが聞こえていました。川底が白のは陶石がむき出しになっているから。川底の石を辿って、質の良い陶石のある場所を探っていたそう。この川には落水を利用した臼「水磨臼」が100基ほど設置され、陶石が砕かれていたそうです。



7 松尾磁器製作所

今度の展示会でお披露目されるという急須製作の真っ最中。石膏の割型に生地を流し込み固めていく鑄込みについて、「その日の気温や天候によって、型どりの時間も微妙に変わるから、目が離せない。」と松尾さん。分業制で作られる波佐見焼。職人さんなしでは町の産業が成り立たないことをあらためて感じつつ、後継者不足で廃業を余儀なくされるという現状に思いを馳せました。



1 智恵治窯跡

明治時代につくられた登窯。昭和27年まで実際に使われました。全て煉瓦でつくられているのが特長。写真で観るよりずっと大きいので、ぜひ実物を。



2 天満宮

苔むした石橋、色あせた天井画。まるで映画に出てきそうなところ。小さいながらも細部まで作り込まれた天満宮に、かつての繁栄を見ました。



3 猿田彦神社

旅の神様、猿田彦が祀られていました。人々の往来が多かったことが伺えます。



4 三股本登窯跡

三股は窯跡だらけ。林の中に残るこの窯跡は幻想的な雰囲気漂っていました。壁の壁面にある穴(通風孔)は炎の通り道。この穴があるということは、とりに窯が連なっていたということです。

波佐見焼 はじまりの場所 三股郷散策

ディープ度
100%!!

ディープ!波佐見の
編集メンバーで
行ってきました

観光ボランティアガイドの石原さんに「ディープな波佐見が知りたい!」とお願いをしたところ、それならば波佐見焼のはじまりの場所なんてどうでしょうか、とのご提案。波佐見の東エリア三股へ出かけてきました。



波佐見散策にはガイドさんと一緒のツアーがおすすめ。オリジナルでコースを組んでもらうこともできます。よりディープに観光を楽しめます。
ガイド料
1名様...500円(120分)
お問い合わせ
波佐見町観光協会
tel.0956-85-2290

旅の
ガイドブックの
一歩内側をゆく

デープ!! 波佐見町

DEEP!!
HASAMI!!!



長崎県波佐見町

DEEP!! DEEP!! DEEP!!